

第4回懇談会の主な意見等

＜複合化のあり方等＞

＜複合化等の必要性＞

○改築ラッシュの中、財政面から大きな方向性として、効率化や複合化があることは理解できた。

＜複合化のメリット＞

○複合化による公共図書館からのレファレンスの良さはメリットだが、今後デジタル化が進み、合築でなくてもリモートなど様々な連携ができる。

○読書活動の促進がメリットと説明があったが、杉並区は多くの優秀な学校司書のおかげですでに読書活動は盛んである。

○高井戸中学校・図書館もトイシなどは別々であり、ランニングコストを含めて、複合化による施設の効率化は限定的ではないか。

○学校も図書館も複合化のメリットはあまりないのではないか。宮前図書館の良さは広い学習室であり、良さを削るのはいかがなものか。

＜現在形の評価＞

○宮前図書館は、子育ての悩み相談など、地域に根付いており、今が理想形に近いと思う。

○これからは多世代交流が基本。この地域では、様々な地域に根差した活動があり、地域力が高い。

＜様々な複合化の形について＞

○公共図書館と集会施設の複合化が良いのではないか。

○機能を切り離して複合化するという方法もある。

○セキュリティの課題も検証していく必要がある。

○中学校・図書館の複合化だけでなく、コミュニティふらっと等の他の複合化のパターンについてもシミュレーションを示して進めるべき。

○将来的に空き教室が出てきたときに、何に転用するのか、将来を見据えた複合化の検討が必要。

＜その他の意見＞

○プールをなくすのではなく、学校施設の充実が大事である。

○さざんかステップアップ教室は、今のように図書館との複合化がよい。

- 資料4のデータを見ても、そこまで子どもの人数は減らないと思う。先を見据えた計画を立ててほしい。
- 学校は子どもの命を預かる場所であるということを踏まえて、複合化について考えてほしい。
- 学校づくりには、特別支援教育のインクルーシブや、ユニバーサルデザインに配慮してほしい。
- 将来子どもの数が減るという理由で、改築直後の生徒に狭い校舎・校庭をあてがって我慢させてはならない。
- 宮前図書館は、今より狭くなってもいいので、今の場所にあってほしい。
- 大宮前保育園改築の仮設用地のために、今回の複合化をするという考えはいかがなものか。